翠会

金沢女子大学
金沢学院大学同窓会

［会 報 誌］

The Bloom 2013

翠会からのお知らせ

2013年 翠会総会開催

と き／平成25年8月4日（日）
13:30～17:00
ところ／金沢エクセルホテル東急
（金沢市香林坊2-1-1 TEL:076-231-2411）

翠会　学友会にエアコンを寄贈

同窓会会報別冊の掲載者募集について

翠会ホームページリニューアル

2012年度 翠会総会報告

金沢女子大学・金沢学院大学　同窓会翠会　第12回記念講演

「鏡花・金沢・新幹線」

講師 青山 克彌氏（元金沢学院大学・金沢学院短期大学名誉教授）

青山先生へのお手紙

「第３期卒 文学部／日本文学科 羽柴（旧姓 竹之内）優子さん」

「第６期卒 日本文学科／翠会 監査 西出（旧姓 加藤）可奈子さん」

総会に参加して

「第１期卒 文学部／英米文学科 澤本（旧姓　藤島）民子さん」

「第３期卒 文学部／日本文学科 羽柴（旧姓 竹之内）優子さん」

金沢学院大学公開講座について

LONDON OLYMPIC

【オリンピックお疲れ様でした!】

選手の皆さんをインタビュー

翠会 会長あいさつ

「第１期卒　下置（旧姓 宇野）宏子」

翠会会長あいさつ

翠会会長
第１期卒　**下置**（旧姓 宇野）**宏子**

翠会会員の皆様、お元気でお過ごしでしょうか？昨年のロンドンオリンピックでは、金沢学院大学から現役と卒業生を含めて５人の選手が出場しました。大学開学当時には考えられなかった名誉なことで、我々同窓生としても嬉しく誇らしく思っています。これまでは金沢学院大学の卒業生ということをあまり意識していなかった同窓生も、このオリンピックを機に母校に対する関心が高まるきっかけとなったのではないでしょうか？今後も後輩たちの活躍が楽しみです。引き続き応援よろしくお願いいたします。

また、24 年度の総会で記念講演をされた、青山克彌泉鏡花記念館長（当時）が、総会の約１ヶ月後に急逝されました。大学の創立当時からの名物先生だった青山氏は金沢の文学を多くの方に伝えられ、素晴らしい功績をあげられました。先生は体調の悪い中、同窓会の記念講演をお引き受け下さり、その気迫あふれるお姿が今でも目に焼き付いております。最後まで職務を全うされた青山先生のプロ魂に、改めて感謝と尊敬の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

さて、今年の記念講演会は新学長の秋山稔先生です。先生の講演を聞きにお気軽に同窓会総会にご参加くださいませ。心からお待ちしております。

翠会総会報告

24 年度の翠会総会は８月５日（日）におこなわれました。

総会ではこれまでの同窓会の活動報告や会計報告等会員の皆様へのお知らせがありました。なお、発刊が決定した同窓会創立 20 周年記念事業の会報別冊と翠会のホームページ開設など今後の事業計画の報告もありました。

そして、記念講演は青山先生の「鏡花･金沢･新幹線」でした。（詳細は後述）

その後の懇親会は、東急ホテル自慢の料理とおいしいお酒をいただきながら歓談し、楽しい会となりました。また会の途中には大学職員と翠会役員の紹介や近況報告もあり、前年の懇親会では聞けなかった話も飛び出し、大いに盛り上がりました。初めて参加されたという会員の方も、久しぶりに再会した先生方や学年を超えた同窓生と、話が弾んでいました。

翠会総会に参加して…

第３期卒（文学部 日本文学科）
羽柴（旧姓 竹之内）**優子**さん

Q1 ご参加は何回目でしょうか？
A．２回目です。（金沢市内からご参加）

Q2 今回ご参加されることにしたきっかけはなんですか？
A．青山先生の講演会があったからです。
※羽柴さんにはこの後、青山先生の思い出について、ご寄稿いただきました。そちらもぜひ読んで下さい。

Q3 今回総会では、なにが一番面白かったですか？
A．やはり、青山先生の講演会でした。学生時代に聞いた当時のままでした。学生時代は少し眠たいな～と思いながら聞いていましたが（笑）

Q4 その他あれば教えて下さい
A．実は私の母親も青山先生の生徒でした。当時、青山先生は金沢女子短期大学高等学校（現：金沢学院東高等学校）で教鞭をとられており、母はそこの出身でした。
なお、総会は日曜日開催なので参加しやすくて助かります。
また第１回目は加藤タキさんの講演会があってとてもよかったです。今後オリンピック選手を育てた古先生の講演会があるとうれしいです。

第１期卒（文学部 英米文学科）
澤本（旧姓 藤島）**民子**さん

Q1 ご参加は何回目でしょうか？
A．初めての参加です。（滑川からご参加）

Q2 今回ご参加されることにしたきっかけはなんですか？
A．会報を見て、行ってみようと思いました。

Q3 今回総会では、なにが一番面白かったですか？
A．会長をはじめ、先生方に久しぶりに会えて楽しかったです。

Q4 その他あれば教えて下さい
A．旧盆の週の方が参加しやすいです。
また、講演会ではいろんな分野のお話が聞きたいです。
例えば、医療関係の話とか普段なじみの無いお話などを聞いてみたいです。

翠会からのお知らせ

1. 翠会では毎年８月に金沢で総会を開いております。是非この機会に、懐かしい皆さんとクラス会を兼ねて集まってみてはいかがでしょうか？お待ちしています！

日時:平成25年８月４日(日)　13:30～17:00
場所:金沢エクセルホテル東急　(金沢市香林坊２-１-１　TEL:076-231-2411)

◆総　会　13：30～14：10（受付　13：10～）

場　所：金沢エクセルホテル東急　５階　フォレストルーム
議　題　(1) 平成 24年度事業報告･会計報告について
(2) 平成 25 年度事業計画(案)･会計予算(案)について
(3) 奨学金制度について
(4) その他

◆記念講演　14：30～15：30（受付　14：00～）

場　所：金沢エクセルホテル東急　５階　ボールルーム C
講　師：秋山稔先生（金沢学院大学学長）
テーマ：「『生きる力』の創造をめざす」

◆懇親会　15：40～17：00（受付　15：15～）

場　所：金沢エクセルホテル東急　５階　フォレストルーム&エクセレントルーム【立食形式、会費無料】
※懇親会のみのご参加も大歓迎です、ふるってご参加ください。

2. 24 年度の翠会総会（懇親会）にて、大学学友会室よりエアコンが老朽化したため、翠会から寄贈していただけないかとの依頼があり、翠会にて寄贈させていただきました。なお、天井設置のビルトインタイプのエアコン２台で、費用は 30 万円でした。平成 22 年にも野外時計（60 万円）の取り換え等、翠会は在校生の方々にも快適に勉学に励んでいただけるよう大学に貢献しております。

3. 翠会ホームページがリニューアルいたしました。

翠会の名前の由来から沿革、活動報告、会報のバックナンバー等、会報に載せきれない情報が盛りだくさんです。また、ご実家がお引越しされて、会報が届かなくなった等のお問い合わせの他、翠会への疑問・質問等もお待ちしております。ぜひご覧ください。なお、お問い合わせ画面にてメールアドレス等、皆様の最新情報の登録もお待ちしています。件名は連絡先追加変更でお願いします。
http://www.midorikai.jp

〈HP トップ〉

〈お問い合わせ〉

金沢女子大学･金沢学院大学　同窓会翠会　第12回記念講演

「鏡花・金沢・新幹線」

日時：平成24年８月５日（日）　14時00分～17時30分
場所：金沢エクセルホテル東急
講師：青山　克彌（あおやまかつや）氏（元金沢学院大学･金沢学院短期大学名誉教授）
前泉鏡花記念館館長、前鏡花記念金沢市民文学賞選考委員長
著書に『鴨長明の説話世界』、『日本文学研究大成　中世説話Ⅰ』（共著、国書刊行会）、『原本現代訳　加賀騒動』、『加賀能登の芸術風土』、『金沢市史資料編15　文学･教育』（共著、金沢市編纂室）、『加賀の文学創造―戦国軍記･実録考』他

かつて、金沢学院大学・金沢学院短期大学で教鞭をとられていた青山先生。
先生の授業を履修された方も大勢いらっしゃることと思います。
今回は「鏡花・金沢・新幹線」をテーマにお話して下さいました。その一部をご紹介させて頂きます。

★鏡花と金沢

鏡花記念館のある金沢市下新町ですが、あの場所が泉鏡花の生家跡なのです。世の中に文学館は山ほどあるのですが、生家跡に立っている記念館というのは、ちょっと少ないわけであります。

ただし、今あります風雅な門や土蔵は、鏡花が東京へ去ってしまってから跡を所有した人が造った門ですから、泉家の門ではございません。多くの人は「いや、さすがに鏡花の家だ。立派な門だな」と感動するので、いろいろ困るわけであります。

下新町は金沢の観光地でもあるいわゆる茶屋街の一つである主計町に接しております。
そんなわけで、私どもの館の入館者の３分の２は観光の人、それも東京近辺、首都圏からの人が多いという事実はあるわけです。逆にあまり地元の人が来てくれないというのが私どもの悲哀であります。

しかも東京近辺からお見えになるご婦人方が誠に失礼だけれど、率直に言って鏡花の小説を読んでいる、鏡花文学に深い関心があるとはちょっと考えにくいわけです。では、なぜ当館にお越しくださるのか。それはひとえにお芝居のせいであります。

いろいろさまざまな作品がありますけれども、ざっと鏡花の作品は 300 編です。300 編のうち、波乱万丈の悲しく激しい恋の物語という、強いて言えばメロドラマに属する数編があります。メロドラマ系列の数編は、新派という劇団がしょっちゅうやっているわけです。

金沢では新派が来ることは少ないのでありますし、せっかく新派が来ても、なぜか鏡花物を上演してくれないというような部分もあるのです。中でも東京で新派のお芝居をやるときは、日本橋三越旧館の最上階に非常にクラシックな三越劇場という劇場が入っているわけで、大抵そこでおやりになるわけであります。三越劇場でしょっちゅうやるのは、有名な「婦系図」というお芝居です。これは波乱万丈で、大大大メロドラマであるわけであります。

それから、金沢の方ならよくご存じの「滝の白糸」があります。「滝の白糸」は、完全に金沢が舞台であります。ただし、これは原作がありまして、「義血侠血」という血みどろの名前なのですけれど、これが新派のお芝居では「滝の白糸」と変わる。「滝の白糸」は、ヒロインの芸名でもあります。こういうものは、とにかくしょっちゅう今現在東京ではやっているわけであります。

★北陸新幹線

と、東京の話が出たところで北陸新幹線なのですが、最短で金沢－東京間が２時間 38 分で結ばれるそうですね。石川県の偉い人は、東京近郊、首都圏からの客は今のところ年間 230 万人ぐらいなのですが、これが 500 万人まで増やそうと思えば増やせると言っておられます。

実は僕みたいな素人が懸念するのは、そんな簡単に希望的観測を持っていいかなという気がするのです。というのは、いわゆるストロー効果というのがあります。要するに、東京から来るかもしれないけれど、金沢から東京へ出て行く人々が相当ある可能性がある。

確か前橋だったかな、109 ビルがあったのです。そうしたら、前橋の 109 に買い物にいった子が、新幹線にも近いものだから、当然、渋谷の本家本元の 109 へ出て行くわけです。そして最後は誰も前橋の 109 へ来なくなったと。そうなると金沢の若い女の子が、香林坊の 109 ビルに行くか行かないか。いろいろな不安が出てくるわけであります。金沢は大相撲ファンが多いですね。打ち出しは確か国技館の場合は６時でしょう。６時までゆっくり楽しんで、日帰りできるかもしれない。東京ドームのナイターはどうかと、こんなことを考えたらきりがないです。要するに、新幹線を通して、人口が金沢から東京に流出するリスクはある。これを指摘する識者は多いのですね。

一方、東京と金沢の人間と人間との人的交流がいろいろな意味で発達し、濃密になってくる。これは金沢の文化においても何らかの影響をもたらすのではないかというような一言を言う人が

あります。
例えば美術、学術、音楽、芸能、スポーツ、何でもいい、いろいろな分野で、いわゆる東京に普段住んでいる売れっ子の著名人が金沢へやってくることは珍しくも何ともなくなるだろうと思われます。
これまで金沢の文化というのは、大体あまり中央の偉い人を呼ばない。ギャラが高いせいもあるのですが、招くゲストも、いろいろお付き合いする人も、大体金沢の人で間に合わせてきた。それで何とかなったのですね。それがだんだんできなくなってくるのではないか。どこもかしこも、金沢人だけで済ますという、僕の言葉を使えば、金沢の文化が持つ一種の自己完結性、自分たちだけですべてをちゃんと完結して見せるということが徐々に崩れていく可能性は少なくないのではないかと思っています。
金沢と東京が2時間38分で結ばれたあかつきはどうなるか。これは興味津々であり、恐らく最初は、皆さん、東京スカイツリーを見にいくのではありませんか。東京の人からすれば、金沢などというのは、一つ観光地が増える程度でしょう。大体東京の中心街で、北陸新幹線、金沢までできるのだけれどと聞いたら、4%の人しか知らなかったといいますからね。金沢では100%知っていますからね。この辺の違いで、さあどうなるか、これは興味津々で、私も冥土のみやげに、新しい歌舞伎座を一遍のぞいてみたいと、そして北陸新幹線一遍乗ってみたいと思うが、さあそれまで寿命がもつかもたないかと。それで、今日は終わりにいたします。10分遅れました。すみません。

～青山先生へのお手紙～

上記にも記載しましたが、昨年、青山先生がお亡くなりになりました。
そこで、青山先生へ思い出話を同窓生のお二人にお伺いいたしましたので、ご紹介させていただきます。

同窓会からいくらも日がたたないときに、青山先生のご訃報に接し、ただただ驚いております。
短大附属高校で先生に古文を教わった私の母は、「女子大には青山先生がおいでるよ。しっかり勉強せんなん。」と、私が金沢女子大学に入学したとき、大変喜んでくれました。母によれば、若かりし日の先生は、無口でちょっとお堅いイメージ。おしゃべりが過ぎた生徒たちにしびれをきらし、教科書を机に叩きつけ、教室を後にしたこともあったとか…
同窓会でのご講演をとても楽しくお聴きしました。先生独特の語り口は、二十年前そのままで、すっかり学生時代に戻った気分で拝聴しておりました。お話が進むにつれ、浅野川界隈の雰囲気、新派の煌びやかな舞台が目に浮かんでき、鏡花作品の主人公は先生ご自身かのように思えてきたものでした。
先生は五年ぶりの鏡花フェスティバルで上演される、劇団唐組の芝居を楽しみにされているご様子でした。私もその芝居を見に行き、また先生にお目にかかることができればと思っておりました。観劇の感想をお伝えすることができなくなってしまったことが心残りです。
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

第3期卒：文学部　日本文学科　羽柴（旧姓 竹之内）優子さん

私と青山先生との出会いは、入学後まもない頃である。
日本文学科である私は、初めての青山先生の講義に衝撃を受けた。記憶が今となっては定かではないが、たしか本の体裁や名称など基本的な内容から入っていったと思う。そして、話がいつしか金沢の地名や、金沢を舞台にした小説の中の実在する場所（坂・道・喫茶など）のことになり、時には評論家のようにそして時には講談師のようなリズムで延々と逸れていく。そして最後にお決まりの台詞「諸君、ご参考までに」で講義が終わる。（初期の日本文学科の皆様には懐かしいと思われることであろう）
こうして青山ワールドの魅力にすっかりはまったのである。それからというもの、講義が終わり、先生のご予定もない時間に、友人と先生の研究室に通う日々が卒業するまで続いた。話題は、お好きな宝塚、小説家、一緒に行こうと遂には計画倒れの文楽（ぶんらく）鑑賞、そして恋愛相談など。今となってはお忙しい先生をつかまえて、他愛もないことに日々お相手していただいたことが申し訳なく、一方で貴重な素晴らしい時間を過ごすことができたことに感謝している。
青山克彌先生、本当にありがとうございました。どうぞ天から金沢をすみずみまでご覧になって、ますます「ご参考までに」のネタを増やして下さいね。

第6期卒：日本文学科　翠会　監査・西出（旧姓 加藤）可奈子さん

オリンピックお疲れ様でした、選手の皆さんをインタビュー

2012年のロンドンオリンピックでは、金沢学院大学・大学院関係者から５名もの選手が出場し、翠会からは応援金を送り健闘を祈りました。そして彼らは、大学関係者や石川県民ばかりでなく、日本国民に夢と希望を与えてくれました。

この素晴らしい功績を残した５名の選手に、感謝の気持ちを伝えると同時に、ロンドンオリンピックを振り返ってどうだったか、また、今後の思いについて、昨年11月にお話を伺ってきました。

トランポリン

伊藤　正樹さん
（いとう　まさき）

金沢東高校→金沢学院大学→金沢学院大学大学院経営情報学研究科
2008～2010 全日本選手権優勝
2011 ワールドカップ〈ロシア大会〉３位
　　ワールドカップ〈川崎大会〉優勝
　　国際大会選考会優勝
　　世界選手権　個人３位・団体優勝
2012 オリンピック〈ロンドン〉４位
　　（日本人最高位）

Q1 オリンピックに行ってみてどうでしたか？

A. 非常に楽しくて、あっという間の2週間でした。今まで出場した大会とは雰囲気が全然違っていて、ただの世界選手権ではない、オリンピックは特別な大会だと感じました。

Q2 ブログで外国人の選手と一緒に写っている画像を見たのですが、他の国の選手との交流もしたようですね。

A. はい。でも、オリンピックで知り合ったというわけでなく、もともとほとんどの人が知り合いです。外国人の選手とはほかの大会でも会っているし、よく知ってます。大会に出場する選手、特に上位に入る選手は大体決まっているので。

Q3 イキュンメングランプリ（ネットサイトの人気投票）について

A. それは僕には何の連絡もなく、人から聞いてグランプリだったと知りました。特に何かをもらったりもしてません（笑）。

Q4 今後の目標について聞かせてください。

A. 全日本の後は世界選手権があるので、そこでよい結果を出せるよう頑張ります。

ウエイトリフティング　75kg超級

嶋本　麻美さん
（しまもと　まみ）

県立和歌山東高校→金沢学院大学→金沢学院職員
2008 アジア選手権優勝
2009 東アジア大会３位
2010 全日本選手権優勝
2011 全日本選手権優勝
　　世界選手権８位
　　プレオリンピック３位
2012 世界選手権６位
　　全日本選手権優勝
2012 オリンピック〈ロンドン〉９位

Q1 オリンピックに行ってみてどうでしたか？

A. ４年に１回の大きな大会だし、やっぱりすごいなと思いました。

Q2 銀メダルに輝いた三宅宏美選手の試合のとき、お手伝いに入っているところをテレビで見ましたが、試合の舞台裏でどんなことを思いましたか？

A. 一週間後に自分が立つところだと思うと緊張しましたが、あまりそのときは自分の試合のイメージは沸きませんでした。三宅選手のことしか考えていなかったので、頭の中はそれだけでした。

Q3 嶋本選手の試合のときにはどなたがサポートに入ったのですか？

A. 自分の試合のときは八木選手がついていました。八木選手には先生がついていました。バーベルに重りをつける人や準備が整ったときに呼びに行く人など、協力してくれる人が必要なのです。これまでもコーチや先生がついてくれていました。

Q4 選手村はどうでしたか？

A. あまりわたしの好みではなかったので、たくさん持っていってた日本食を、ホテルで食べていました。

Q5 今後の目標について聞かせてください。

A. これからある全日本やいろんな大会でいい記録を出したいです。

トランポリン

岸　彩乃さん
（きし　あやの）

小松大谷高校→金沢学院大学スポーツ健康学部３年
2011 ワールドカップ〈川崎〉個人５位
　　シンクロナイズド銅メダル
2012 オリンピックプレ大会　10位
　　オリンピック〈ロンドン〉予選14位

Q1 初めてのオリンピックいかがでしたか？

A. やはり、ほかの試合とは比べ物にならない雰囲気を感じました。会場もとても広く、観客も多かったです。目標はクリアできなかったけど、今の実力はそのくらいなのかな、と実感しました。

Q2 オリンピックに行く前と帰ってきてからでは何か変わったことはありますか？

A. オリンピックに行く前は取材が多かったけど、帰って来てからは講演や実演の依頼が多くなって、土日がないくらいの忙しさなんです。小さいお子さんから中学生まで、いろんな年齢の方から、全国のいろんなところから依頼があります。こんなふうになるなんて、予想していませんでした！

Q3 今後の目標について聞かせてください。

A. 石川県はトランポリンは盛んですが、まだ普及していないところが多いので、もっといろんな人に知ってもらいたいです。将来的には指導者ということも考えられますが、トランポリンの普及をいちばん考えています。ですが、それはずっと先のことです。まだまだ現役でもっといい成績を残したいし、次のオリンピックも視野に入れて、がんばっていきたいです。

水泳・高飛び込み

中川　真依さん
（なかがわ　まい）

小松市立高校→金沢学院大学→金沢学院大学大学院
経営情報学研究科
2008 オリンピック〈北京〉11 位
　　ワールドカップ６位
2009 世界選手権 14 位
2010 アジア大会３位
2011 世界選手権 18 位
2012 ワールドカップ７位
　　オリンピック〈ロンドン〉準決勝 18 位

Q1 オリンピックに２回も出場できるとは、なかなかできない素晴らしいことですよね。

A. ありがとうございます。知っている人も多く、初めてのときよりは落ち着いて見られる部分もありました。

Q2 会場には、槻木学長（当時）を始め多くの人が日本から応援に駆けつけました。高飛び込みの演技は一瞬のように感じますが、その一瞬に応援は伝わりましたか？

A. はい。飛び込む前に見渡したときにもわかりますが、それまでの時間にも呼んでくれたり「がんばって」とか声をかけてくれるので、すぐにわかります。応援の人がいると、試合のときの気持ちが全然違いますね。特に今回は、応援してくれる人がいるということが力になりました。でも、２回目のオリンピックなので少し余裕もありました。なので、どこでだれが応援してくれているのかも探せましたよ（笑）。その応援に来てくれた人に、いい演技をみせたいという気持ちで演技に臨みました。

Q3 選手村はどうでしたか？

A. いろいろな料理があって、わたしはおいしくいただきました。おいしいものがいっぱいあったし、競技の前後の滞在中はずっとそこで食事をしました。

Q4 今後の目標について聞かせてください。

A. これからはもっといろんなことを味わいたいと思っています。今までは、ストイックにやってきたんです。競技に出るからにはいい成績を取りたい。だけど、これからは結果だけでなく、また、競技だけでなくいろんなところに目線を向けながら、いろんなことに挑戦して楽しみたいです。

ウエイトリフティング　53kg 級

八木かなえさん
（やぎ　かなえ）

県立須磨友が丘高校→金沢学院大学スポーツ健康学部３年
2009 世界選手権９位
2011 世界ジュニア選手権４位
　　ユニバーシアード７位
　　全日本学生個人選手権優勝
2012 全日本選手権優勝世界ジュニア選手権６位
2012 オリンピック〈ロンドン〉12 位

Q1 オリンピックはいかがでしたか？

A. すごい場所で、こんなところで自分が競技しているなんて信じられないな、と思いました。ほんとにすごい、という言葉しか出てきません。

Q2 日本から駆け付けた人たちの応援は伝わりましたか？

A. はい。よく見えました。挙げているときは集中しているので周りが目に入りませんが、選手紹介のときにどんな人がいるか見てわかります。挙げる直前まで応援してくれる声が聞こえて、力になりました。

Q3 オリンピックに行く前と帰って来てからでは何か変わったことはありましたか？

A. オリンピックに出場したすごい人になったって感じで言われます。前より街中やいろんなところでみなさんから声をかけられるようになりました。

Q4 選手村はいかがでしたか？

A. 全世界の食べ物がいろいろあって、食べ放題だし、楽しかったです。いろんな料理を少しずついただきました。

Q5 今後の目標について聞かせてください。

A. 記録をあげていくことです。

ロンドンオリンピックで健闘した５名選手の栄誉を讃え、これからも応援していきましょう！

金沢学院大学公開講座について

金沢学院大学では、定期的に一般の方々が参加できる公開講座を無料で開講しております。パソコン講座や歴史・文学講座など様々なジャンルがそろっております。みなさん、ぜひ参加してみてください！

なお、24 年度に行われた公開講座の一部を紹介させていただきます。

＜絵画・工芸の見どころ＞

金沢学院大学美術文化学部芸術文化学科の公開講座「美術鑑賞達人への道」は７月７日、金沢市南町のサテライト教室で行われ、受講者は絵画や工芸の見どころをどこに置いて鑑賞すればよいか学びました。

市島桜魚学科長、平木孝志教授、西田伸一教授、羽場文彦准教授、村谷聡志講師がそれぞれ、日本画、洋画、陶芸、漆芸の分野について原材料、歴史、制作の苦労などについて順に解説しました。

市島学科長は作品解説＝写真＝で「それぞれの作り手が自分の思いをいかに作品に込め、見る人に伝えるかに苦心している」と話しました。

＜手紙から人生読み取る＞

金沢学院大学文学部日本文学科の公開講座「手紙にみるさまざまな人生」は７月８日、金沢市南町のサテライト教室で開かれました。田邊正彰教授が、哲学者西田幾多郎の手紙と日記を紹介＝写真＝し、肉親との死別などをつづった和歌や漢詩から読み取れる悲哀に触れました。柳澤良一教授は、平安時代の手紙の模範文例集「雲州往来」からしのばれる当時の生活について解説しました。

なお、今年度の公開講座一覧を同封しておりますので、ご参照ください。

～募集告知～

翠会では 20 周年記念事業として、同窓会会報の別冊「卒業生のその後の活躍を追う」を現在作成中です。これは卒業生の就職状況や近況をまとめた冊子で、卒業生同士の交流を深めるきっかけになればと考えております。また在校生にとっても勉学・資格取得等に対する意欲を高めたり、将来への目標や希望をもって学生生活を送ったりする一助となることを期待します。

上記にありますように同窓会会報の別冊「卒業生のその後の活躍を追う」の趣旨をご理解いただき、ご協力いただける同窓会会員の方は翠会ホームページ（http://www.midorikai.jp）内の「お問い合わせ画面」より翠会までご連絡ください。

ご連絡いただいた方には順次、こちらから連絡させていただいております。

今、我々が卒業した大学で勉学やスポーツに励み、これから社会に出て活躍する後輩のために、ぜひご協力お願いいたします。もちろん、同窓会会員の皆様にも配布します。同級生、先輩、後輩が卒業後、あるいはその数年後、どのような職業に就いたのか、どんなことをがんばっているのか、知りたいと思いませんか？それはわたしたちの励みにもなるかもしれません。現在「専業主婦」という方も歓迎です。われわれ同窓生にとっても意味のある冊子にしたいので、ぜひご協力お願いします。ご質問・ご希望等ありましたら、翠会までご連絡ください。

掲載予定内容

1. **氏名**（旧姓も）**＋フリガナ**（顔写真大歓迎！）
2. **卒業期**（年齢は不要）
3. **学部・学科等**
4. **現在の職業**（部署名や役職もあれば）
5. **現在の職務内容**（部署名や役職もあれば）
6. **出身都道府県**（市町村）
7. **勤続年数＋前職等**
8. **今興味のあること**
9. **在学生へのメッセージ**
   （この大学に来てよかったこと、学生生活を振り返っての反省などを踏まえて）
10. **その他自由に**

～皆さんご存知でしたか？リニューアルしたあの場所～

今年の表紙を見て懐かしいなって思った方が多いと思います。

卒業して〇〇年、ちょっとずつですが、校内もリニューアルしているのですよ。

３号館１Ｆ食堂＆2F カフェテリア

テーブルは以前の面影を残していますが、床やカウンターは今風になっていますね。

食　堂

カフェテリア

KG ショップ

金沢学院大学新売店 “KG SHOP”

平成 25 年 5 月 9 日（木）午前 8 時 30 分オープン！

飲料、冷菓、スィーツ、弁当などの他、書籍、雑誌等、定番商品から美術文化学部の皆さんにも納得の画材、美術用品など 4,000 品目以上の品揃え。

そして、なんと学生の皆さんにはうれしい市価よりもお値打ち価格で販売とのこと！

今の学生さんがうらやましいですね（笑）

編集後記

昨年はロンドンオリンピックで日本中が熱狂しましたね。選手の皆さんが取材を受けるたびに、背景に「金沢学院大学」の文字と校章が映るので、私はとても誇らしい気持ちになりました。他にも嶋本麻美さんの特集番組も放映されたり、まさにオリンピックイヤーでした。

また 2020 年のオリンピック招致のポスターに八木かなえさんが登場しております、こちらもぜひチェックしてくださいね。（詳しくは東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致委員会の HP をご覧ください）

さて、年に一度の総会・懇親会がまた近づいてきました。懇親会では、同世代のみならず当時出会えなかった先輩・後輩と、また懐かしい先生方と大学時代の話や近況報告が出来るため毎回大盛り上がりです。皆様もご多忙とは思いますが、ぜひ一度総会や懇親会にご出席されてはいかがでしょうか。

また、会報を読んで総会に来たというお声もいただいております。本当にこれは会報担当冥利に尽きます、ありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。

最後になりましたが、発行するにあたり、たくさんの方々にご協力いただきましたことをこの場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

●**ご意見、ご感想はこちらまで。** midori@ucatv.ne.jp

■発 行 日　2013年６月　　■発　　行 「翠会」 〒920-1392　石川県金沢市末町10
■編　　集　倉　　薫（第５期卒：文学部）、池田 勇輝（第12期卒：経営情報学部）